

令和6年度学校評価報告書

令和7年3月19日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭清水丘高等学校長

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 礼節を重んじ、豊かな情操を育む (2) 意欲的な取組を重んじ、主体性を育む (3) 健全な心身を重んじ、強い忍耐力を育む |
|--|

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> (1) 交通費の高騰や通学に不便な地域ではあるが、学校の魅力も多くあるので日頃の学校の活動など魅力発信を更に充実させる必要がある。 (2) 学校祭や競技大会など、保護者等から多くの参加があり、学校の教育活動に興味・関心を持ってもらっており、PTA活動は非常に積極的である。 (3) 学校HPのリニューアルやnoteの活用、一斉メール配信等を活用し、学校の日常を積極的に発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒数も減少し、通学に不便な学校ではあるが、多くの魅力ある活動をしているので積極的に発信することを期待する。 (2) 今後も行事等において、保護者等や地域と連携した活動を充実させることを期待する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校HPや中学校での説明会において、海外研修や行事等、本校独自の特色ある取組の情報提供をしていく。 (2) 今後も定期的なPTAの会合や同窓会など、地域や保護者等との連携を大切にし、地域や保護者等と更なる連携の充実を図る。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> (1) 改善はされているが学習習慣に課題があり、基礎的・基本的な知識・技能の定着を目指した組織的な対応が必要である。 (2) ICTを活用した授業改善が図られるよう、計画的な校内研修等が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) アプリ等を活用した学習習慣定着に向けた取組を期待する。 (2) ICTの活用について一層推進していただくことを期待する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> (1) アプリケーションソフトを活用した学習時間の定着を図る取組を実施する。 (2) 全教職員のICTスキルの向上による授業改善を図る。自動採点システムの導入により教員の授業研究の時間を確保する。生成AIの活用方法について検討する。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> (1) いじめについては、アンケート結果やいじめ対策委員会を活用し、些細な内容でも組織的な対応を行っている。今年度のいじめの認知は1件で既に解消している。 (2) 校則等の見直しについては、学校は支援する立場から生徒に主体的に考えさせて進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) いじめについては、アンケートの実施方法やSNSを活用した相談窓口の設置など丁寧に対応してもらおうよう期待する。 (2) 校則等の見直しについては、様々な教員や生徒の意見を反映したものにしよう期待する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> (1) アンケートの実施回数等、実施方法について検討する。SNSを活用した相談窓口の周知を実施する。 (2) 校則の見直しについて、生徒会を中心とした主体的な取組となるようにする。 	

進路指導	(1) 総合的な探究の時間に係る探究活動を通じた、総合型選抜入試に対応した進路指導体制の構築が必要である。	(1) 総合型選抜対策により、生徒の希望を叶える進路指導を期待する。
改善方策	(1) 総合型選抜入試に対応した指導体制の構築及び総合的な探究の時間の充実を図る。	

公表方法	学校HP	学校評議員会	PTA役員会
------	------	--------	--------

3 添付資料

- (1) 令和6年度 自己評価書
- (2) 令和6年度 学校関係者評価書
- (3) 令和6年度 学校評価に係る保護者及び生徒、職員アンケートの結果